

## ■ 2023年6月の行事案内 ■

### 観察会と自然復元管理作業

\*気象条件等により変更する場合がありますので事前にお問い合わせください。

#### 活動日

6月3日(土) 6月18日(日) 7月1日(土)

季節を感じる観察会：10:00~12:00

自然復元管理作業：13:00~15:30

場所：旧水産試験場管理センター前集合

参加費：1000円(保険料代)

持ち物：帽子・タオル・お飲み物・着替え等  
(動きやすく汚れても良い動きやすい服装で!)

## ■ NPO 法人水元ネイチャープロジェクト 入会案内 ■

みなさんも私たちと一緒に水元の自然について考え、保全活動に参加してみませんか？

NPO 法人水元ネイチャープロジェクトでは、活動の趣旨に賛同いただける方の入会をお待ちしています。

<一般会員> 入会金：2,000円 年会費：2,000円

一般会員は、法人の社員となります。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など、会の基本的な運営に参加していただけます。

<賛助会員> 入会金：5,000円 年会費：5,000円

賛助会員は、法人などの団体会員です。年に一度の総会に出席していただき、会の事業や予算の承認など会の基本的な運営に参加していただけます。

<どろんこ会員> 入会金：無料 年会費：1,000円

どろんこ会員は、サポート会員です。会の事業に参加でき、総会等に参加する必要はありません。

<行事案内・入会に関してのお問い合わせ>

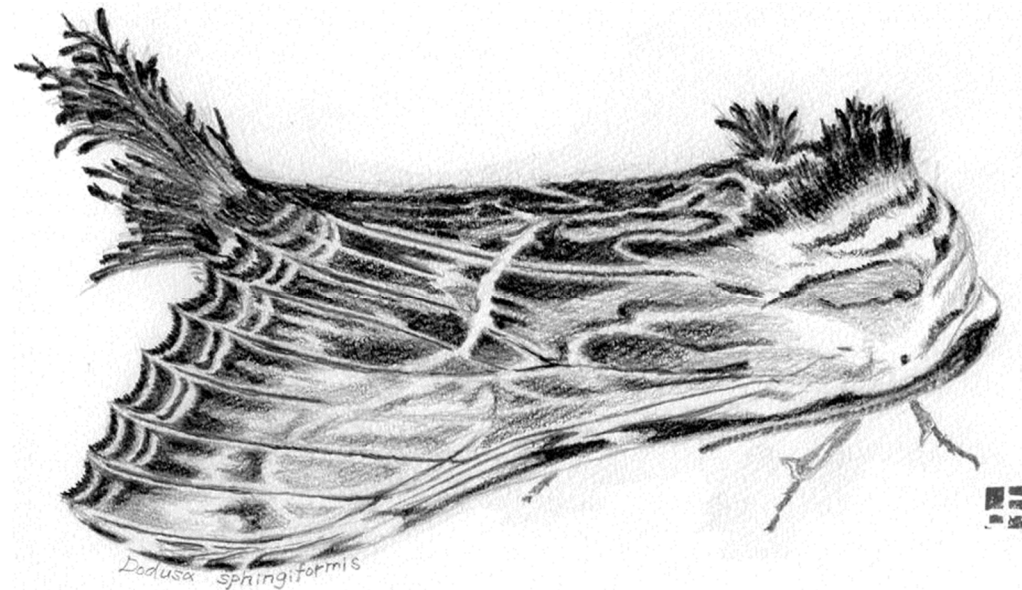
NPO 法人水元ネイチャープロジェクト

<https://mizumoto-np.jpn.org/>

# とんぼ 秋津

2023年6月号

秋津(あきつ)とは、  
トンボの古い呼び名。  
そして日本は昔、  
「秋津島」と呼ばれていました。



<6月>

イラスト Yoshie.I

種名：フサオシャチホコ

学名：Dudusa sphingiformis

対馬、中国と朝鮮半島に生息している。成虫の出現時期は7~8月で、幼虫の食餌植物はカエデ科オニタヤカエデ、ムクロジ科ムクロジである。とても大きなシャチホコガで、日本では対馬からのみ確認されている。成虫は腹部から音を出す。

NPO 法人 水元ネイチャープロジェクト

# 復元ゾーンの生き物たち

ハンゲショウ

イトトンボ類  
ギンヤンマ

今後見られそうな  
主な生き物

アサザ

<令和5年5月の記録（主な生物）>

○植物：アイオオアカウキクサ、アサザ、イヌガラシ、イヌタヌキモ、ウラジロチチコグサ、エビモ、オオイヌノフグリ、オオバコ、オニタビラコ、イ、カタバミ、カモシグサ、カラスノエンドウ、アメリカフウロ、ウマスゲ、ギシギシ、キショウブ、ショウブ、コンフリー、キンラン、スイセン、スイバ、スズメノカタビラ、セイタカアワダチソウ、キツネアザミ、セイヨウタンポポ、オニアザミ、ヌカキビ、ノゲシ、ノビル、ノボロギク、ナガバギシギシ、ナズナ、ハコベ、ハハコグサ、フキ、ヘラオオバコ、ヒメオドリコソウ、ハルジオン、ホトケノザ、タネツケバナ、マツモ、ミゾコウジュ、メマツヨイグサ、カキドオシ、ヨシ、ヨモギ、ヤブヅラミ、フラサバソウ、カントウタンポポ、セリ、ミチタネツケバナ、ヤエムグラ、ヘビイチゴ、アマナ、スノーフレーク、イヌムギ、ムラサキサギゴケ、ケキツネノボタン、コオニタビラコ、チチコグサ、ミジンコウキクサ、オランダミミナグサ、モモイロヒルザキツキミソウ、コウホネ、ウシハコベ、タチイヌノフグリ、ムラサキカタバミ、オオジシバリ、ドクダミ、マツヨイグサ、ヤブヘビイチゴ、イヌナズナ、アゼムシロ、スズメノヤリ、カキドオシ、コゴメイ、イモカタバミ、ハンゲショウ、チチコグサモドキ、イチゴツナギ、カキツバタ、ヤセウツボ、ウマノスズクサ、コメツブツメクサ、キランソウ、イタドリ、コバンソウ、ウマスゲ、カモガヤ、スズメノエンドウ、キュウリグサ、カキネガラシ、ノジシャ、タツナミソウ、オニノゲシ、ノゲシ、スイバ、ヒルガオ、コヒルガオ、フトイ、タチスズメノヒエ、アカバナユウゲショウ、チガヤ、カズノコグサ、カラムシ、ケキツネノボタン、ハルガヤ、オヤブヅラミ、タガラシ、チドメグサ、キランソウ、フトイ、ウキヤガラ、アカツメクサ、シロツメクサ、ネズミムギ、フラサバソウ、タチイヌノフグリ、ホソバウンラン、ヤエムグラ、ヒメコバンソウ など

○昆虫類：モンシロチョウ、モンキチョウ、キタテハ、ベニシジミ、ヤマトシジミ、ナミアゲハ、クロアゲハ、アオスジアゲハ、ジャコウアゲハ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、ホシホウジャク、マエアカスカシノメイガ、シオカラトンボ、アジイトトンボ、コシアキトンボ、ハラビロトンボ、コフキトンボ、ヤブキリ、ショウジョウトンボ、ツチイナゴ、ナツノツツレサセコオロギ、オンバッタ、ショウリョウバッタ、アシナガバチ(種名不明)、ハグロハバチ、ヒメバチ科の一種 など

2023年6月1日より、**アカミガメとアメリカザリガニは「条件付特定外来生物」**に指定されました。  
これまで同様に捕獲や飼育は可能ですが、**野外に放つことは禁止**されました。飼育する場合は、逃げ出さないように管理するとともに、最後まで飼育し続ける必要があります。アカミガメは寿命が30年程ともいわれており、アメリカザリガニを含め飼育を検討している場合は、最後まで飼育が可能か十分に検討してください。